

平成 27 年度 佐渡市道徳部 活動報告

部長 三浦 美和

1 研修方針

授業研究会を行い、学習指導要領の考え方を日々の実践や教育課程にどう反映させていくのかについて研修を深める。

2 研修の実際

(1) 指導案検討会・・・指導案検討，道徳科について

- ① 日 時 10月14日
- ② 会 場 金井小学校
- ③ 授業者 金井小学校 川上 大雅 教諭（1年担任）

12月に実施予定の授業研究会の指導案検討を行った。検討会では、資料の検討や展開について活発な意見交換がなされた。また、道徳科の在り方や別葉の作成についての情報交換を行った。

(2) 授業研究会

- ① 日 時 12月9日
- ② 会 場 金井小学校
- ③ 指導者 両津小学校 校長 新発田 靖 様
- ④ 授業者 金井小学校 川上 大雅 教諭（1年担任）
- ⑤ 主題名 「手つだってあげよう」（B7 親切，思いやり・A1 善悪の判断，自律，自由と責任）



バケツの水をこぼしてしまった友達に、先生のいない場面で、どのように声をかけるかを考えさせた。その際に、社会性と情動の学習（SEL）の資料（声をかけるときのポイント：はちあき）を用いて、全員でこぼした人と声をかける人の立場を入れ替えながら役割演技をさせた。

思いはあるものの一步踏み出せない児童に、役割演技を通して考えさせることで、道徳的行為を行おうとする意欲を高めることができた。

3 研修を振り返って



今年度の研修では、SELの手法を取り入れた道徳の授業の実践から、多くのことを学ぶことができた。

授業においては、指導者の先生から、仲間に声をかけるときのスキル「はちあき」を意識して役割演技をしていたが、困った場面を自分に置き換えて考えさせることや、役割演技では、フロアラーの存在も大切であることなどをご指導いただいた。

今年度の学びを生かし、道徳の指導法の改善を目指して研修をさらに重ねていきたい。